



WASEDA University



WASEDA EDGE

WASEDA-EDGE人材育成プログラム 2020年度Skyward EDGEコンソーシアム連携講座 概要と日程

2020年5月25日（早大生向け速報版）

WASEDA-EDGE人材育成プログラム



新型コロナウイルス感染症への対応について

早稲田大学WASEDA-EDGE 人材育成プログラム：新たなアントレプレナー教育への挑戦

2020年度の早稲田大学WASEDA-EDGE 人材育成プログラムは 全てオンラインによる教育方法にて実施します

新型コロナウイルス感染が社会生活全体に対して大きな影響を及ぼしています。

私たちWASEDA-EDGE人材育成プログラムの実施も深刻な影響を受けています。2020年度に計画していたすべての教育プログラムは、その実施方法を全面的に見直さざるを得ない状況となっています。なぜなら、アントレプレナー精神・能力・行動の養成を目的とするこの教育プログラムでは、グループワークをはじめとして、受講生どうしが間近で議論し、講師がファシリテートするという教育スタイルが高い教育効果を生み出してきたからです。

しかし、今の状況に対処するには、いわゆる3密（密閉空間、密集場所、密接場面）を絶対的に避けなければならない、教室に講師と受講生が一堂に会する対面型の教育方法を採用することはできません。

そこで、2020年度の教育プログラムは、全てオンラインによる教育方法に切り替えることにいたしました。もちろん、この教育方法の変更には、大きな困難は伴いますが、幸いなことに、講師の先生方はこうしたオンライン教育などの最先端の教育技法にも、精通されたエキスパートの方々ばかりですので、十分に実現が可能です。したがって計画時に設定された教育目標も十分に達成できると確信しております。

「災い転じて福と為す」「ピンチは最大のチャンス」と言われますように、今年度はアントレプレナー教育において、これまで試してこられなかった革新的な教育方法を実験的にトライしてみる絶好の機会でもあります。受講者の皆さんと講師の先生方との絶妙のコラボレーションで、これまで例を見ない新たなアントレプレナー教育が実現したいと考えております。

是非とも、WASEDA-EDGE人材育成プログラムに、受講者として、講師として、支援者としてご参加いただき、共にアントレプレナー教育の新たな世界を切り拓いてみませんか？

どうかご協働のほどよろしくお願いいたします。

2020年4月15日

早稲田大学 WASEDA-EDGE人材育成プログラム
運営委員会委員長 須賀 晃一
実行委員会委員長 大野 高裕



2020年度 コンソーシアム連携講座（抜粋）

1. 多摩美術大学×WASEDA-EDGE
ビジネスアイデアの「表現力」を鍛えよう
2. 富山県×WASEDA-EDGE
新規事業創造インターンシッププログラム
3. 埼玉県本庄市×Skyward EDGE
2020年度コンソーシアム合同プログラム
4. 滋賀医科大学× WASEDA-EDGE
医療特化型ビジネスモデル仮説検証プログラム

各プログラムの参加申し込みは、HPより行います。
公募開始は2020年6月中旬以降のメールをご確認ください！

詳細は WASEDA-EDGE H P <https://ssl.waseda-edge.jp> をチェック！



1. 多摩美術大学×WASEDA-EDGE ビジネスアイデアの「表現力」を鍛えよう！

本講座では、WASEDA-EDGEプログラムにて実施している**ビジネスモデル仮説検証プログラム(BM仮説検証)**を基礎に、**多摩美術大学講師独自のアイデア創出法、デザイン面のノウハウ・カリキュラム**を適用して、より効果的な事業創出技法の習得を目指します。アイデア創出・表現のエキスパートである多摩美術大学と連携することで、プロトタイプの効果的な表現力を鍛えることを目指す講座です。

多摩美術大学のプロダクトデザイン専攻は、国内でも最高峰の教育プログラムを有することで知られ、活発な産学連携活動を通じて、創造性に富んだ表現力の高い製品アイデアを世に送り出しています。本講座は、デザインとは何か、という根本的な課題を含め多摩美術大学の教授から教えていただく貴重な機会となります。更に**多摩美術大学の学部学生とのチーム編成を行うことで、表現力に長けた人財との新たなネットワークも築けます。皆様のビジネスアイデアの発想力、表現力を向上させるチャンスです。**

本講座の後半（秋学期）では、GEC設置科目である「**ビジネスモデル仮説検証プログラム（プレミアム）**」を履修していただき、講座の前半で学んだ内容をビジネスモデルへと進化させていきます。

<開催概要>

- 対象：本学 学部生、大学院生
(理系、文系を問いません。起業に関心のある学生ならだれでも参加できます。)
- 定員：20名（予定）（定員超過の場合、受講理由等をもとに選抜します）
- 参加費：無料
- 接続環境：ワークショップでは複数のオンラインツールを同時に利用します。
高速かつ安定した通信環境と接続用のパソコンをご自身でご用意ください。
(デザリングによる接続は非推奨です。)

ビジネスアイデアの「表現力」を鍛えよう！ 開催日程（予定）

6月下旬より参加申込受付開始予定

日時	時間	内容
9/16（水）	10:00-17:00	チェックイン チームビルディング アイディエーション
	(17:00~18:00)	(オンライン懇親会)
9/19(土)	10:00-17:00	アイディエーション
9/26(土)	10:00-16:00	アイディエーション
	16:00-17:00	リーダーシップ(振り返り)
10/3(土)	9:00-16:15	アイディエーション
10/17(土)	10:40-16:15	商品価値検証
	16:30-17:30	リーダーシップ(振り返り)
10/31(土)	10:40-16:15	ビジネスモデル構築
11/14(土)	10:40-16:15	収益モデル&ピッチ
	16:30-17:30	リーダーシップ(振り返り)
12/12(土)	13:00-16:15	最終発表&フィードバック
	16:30-18:00	リーダーシップ(振り返り)
2/17(水)		WASEDA Demo Day

10/3~12/12は
BM仮説検証（プレミアム）
に合流

<https://www.wsl.waseda.jp/syllabus/JAA104.php?pKey=9S120300100120209S120300109S&pLng=jp>

※時間は変更となる可能性があります

担当講師・コーディネータ

● 講師

安次富隆

多摩美術大学 生産デザイン学科教授



大橋由三子

多摩美術大学 生産デザイン学科教授



堤孝志

ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ株式会社 代表取締役



飯野将人

ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ株式会社 代表取締役



● コーディネータ

島岡未来子

早稲田大学政治経済学術院 教授

WASEDA-EDGE人材育成プログラム事務局長



2. 富山県×WASEDA-EDGE 新規事業創造インターンシッププログラム

働きやすさ、暮らしやすさ全国トップクラスの富山県の企業人と早稲田大学の学生が一丸となって課題に取り組む新たなインターンシップのスタイルです。アイデア創出からビジネスモデルの検証まで実践的に学ぶ機会を創出するこのプログラムは、2018年から始まり毎年、参加学生、参加企業担当者から好評を得ています。3回目の開催となる今回は、さらに進化させて**完全オンラインで実施**します。

● アントレプレナーシップ教育の第一人者を揃えた豪華講師陣による オンラインワークショップ

「With/after コロナ時代におけるイノベーション」をテーマに、富山県における地域イノベーション、企業内新規事業創造に貢献できるアイデア創出を目指します。

このプログラムでは、早大生と参加企業がチームを組みます。ワークショップと企業における実践（オンラインインターンシップ）を組み合わせた画期的な構成で、アイデア創出からビジネスモデルの検証までを、理論に基づいた緻密な手法により、実践的に学ぶ貴重な機会を提供します。



<過去参加企業>

朝日印刷株式会社、三協立山株式会社、株式会社C Kサンエツ、株式会社スギノマシン、立山科学グループ、東亜薬品株式会社、株式会社富山村田製作所、北陸電力株式会社、株式会社リッチェル、YKK AP株式会社（五十音順）

2. 富山県×WASEDA-EDGE プログラム全体像と日程

全てオンラインで実施

フェーズⅠ
8月19日(水)～21日(金)

第1回研修(3日間)

フェーズⅡ
8月24日(月)～9月8日(火)で5日間

オンラインインターンシップ(5日間)(予定)

フェーズⅢ
9月9日(水)～9月11日(金)

第2回研修(3日間)

学生
早稲田大学
15名

混合チーム形成

■1日目
13:00-14:00
・オリエンテーション
14:00-17:00
・チームビルディング
17:00-18:00
・オンライン懇親会

■2日目:
9:00-9:15
・チェックイン
9:15-16:15
・アイデア創出
16:15-16:30
・リーダーシップ
(16:30以降は各チーム毎に
自主ワークショップ)

■3日目:
9:45-10:00
・チェックイン
10:00-15:00
・第1回ビジネスモデル(BM)
仮説検証プログラム
15:00-15:30
・フェーズⅡに向けて

顧客インタビューなどを実施

オンライン
インターンシップ
への参加

オンライン
インターンシップ
受け入れ

■1日目:
9:00-10:00
・オリエンテーション
・リーダーシップ振り返り
10:00-17:00予定(終了時間は各チーム
次第)
・BM検証結果発表と
講師からのフィードバック

■2日目:
10:00-15:00
・最終日発表資料作成
・リハーサル・ブラッシュアップ
(15:00以降は各チーム毎に自主リハ)

■3日目:
10:00-12:00
・最終リハーサル
13:00-15:30
・最終発表
<発表対象> インターン先企業幹部、
投資家、講師陣など
16:00-17:30
・プロセスにかかる最終振り返り
(学びの言語化)
・チェックアウト

■対象学生：早稲田大学所属の学部生、院生のみ

■接続環境：ワークショップでは複数のオンラインツールを同時に利用します。

高速かつ安定した通信環境と接続用のパソコンをご自身でご用意ください。(デザリングによる接続は非推奨です。)

■過去開催模様：2019年度の様子、ダイジェスト映像を下記をご覧ください。

https://waseda-edge.jp/event_report_2019?id=20190820

■応募方法：WASEDA-EDGE人材育成プログラムWEBサイトにて近日公開

<https://waseda-edge.jp/>

※書類選考、面接選考(オンライン)を実施します。

2. 富山県×WASEDA-EDGE 担当講師・コーディネータ

● 講師

日向野幹也（リーダーシップ）

早稲田大学 グローバルエデュケーションセンター 教授



曾我部梨羅（リーダーシップ）

株式会社イノベスト アソシエイト



堀井秀之（アイデア創出）

一般社団法人日本社会イノベーションセンター(JSIC) 代表理事
東京大学 i.school エグゼクティブ・ディレクター



堤孝志（ビジネスモデル仮説検証）

ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ株式会社 代表取締役



飯野将人（ビジネスモデル仮説検証）

ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ株式会社 代表取締役



● コーディネータ

島岡未来子 早稲田大学政治経済学術院 教授/
WASEDA-EDGE人材育成プログラム事務局長



3. 埼玉県本庄市×Skyward EDGE 2020年度コンソーシアム合同プログラム

昨年度より、Skyward EDGE コンソーシアムを構成する、滋賀医科大学、東京理科大学、山形大学、多摩美術大学、早稲田大学の5大学による合同プログラムが始まりました。

今年度は、「With/after コロナ時代における大都市近郊地域のイノベーション」をテーマとし、埼玉県本庄市と連携し、5大学の学生らが力を合わせて、ビジネスアイデアの創出に取り組みます。

本庄市は、東京から80km圏にあり、人口約8万人の都市です。首都圏近郊都市として発展し、児玉工業団地やいまい台産業団地なども造成されるなど、近代工業が盛んです。また、エコタウン化を進める市として埼玉県から指定を受け、創エネや省エネに関するさまざまな取り組みにより、エネルギーの地産地消を進め、「環境共生都市本庄」の実現を目指しています。

今回のワークショップでは、大学、高校、市役所、企業、住民という地域の多様なステークホルダーと連携し、With/after コロナ時代における大都市近郊地域のあり方を研究し、先導的な実証実験を行う事業のアイデアを発想します。多様性の高いチームでコロナ時代における新しいニーズについて一緒に考えましょう。

3. 埼玉県本庄市×Skyward EDGE 2020年度コンソーシアム合同プログラム

1. 日程 8月26日（水）～ 8月28日（金）
2. 公募 5月下旬より参加申込受付開始予定
3. スケジュール（予定）
8月26日（水） 13:00-18:00（17:00-18:00 オンライン懇親会）
8月27日（木） 9:00-16:00（12:00-13:00休憩）
*各チームの作業終了時間は未定のため、夜の予定を空けておくようお願いします。
8月28日（金） 9:00-16:00（12:00-13:00休憩）
4. 参加者
 - ・滋賀医科大学、東京理科大学、山形大学、多摩美術大学、早稲田大学の学生
 - ・本庄市役所職員、本庄高等学院の高校生（予定）
 - ・大学教員（予定）
5. 内容
混合チーム（1チーム6名程度）を構成し、i.schoolの手法を用いて、本庄市の地域活性化を促すビジネスアイデアを創造します。
6. 早稲田大学学生定員：4名（申込〆切後、書類選考予定）
7. 接続環境：ワークショップでは複数のオンラインツールを同時に利用します。
高速かつ安定した通信環境と接続用のパソコンをご自身でご用意ください。
(デザリングによる接続は非推奨です。)

3. 埼玉県本庄市×Skyward EDGE 講師

■ ワークショップ講師



堀井秀之

一般社団法人日本社会イノベーションセンター(JSIC)代表理事
i.schoolエグゼクティブ・ディレクター

2009年よりイノベーション教育プログラム、i.schoolをエグゼクティブ・ディレクターとして運営し、新しい製品、サービス、ビジネスモデル、社会システム等のアイデアを生み出すことのできる人材を育成。

地域イノベーションをテーマに活動し、活動を発展させる方策として、一般社団法人日本社会イノベーションセンター(Japan Social Innovation Center, JSIC)を2016年に設立し、社会的課題を解決する事業、すなわち社会イノベーション事業を推進する企業の活動を、霞ヶ関の官僚や産業界の方々がアドバイスし、大学生が事業構想の策定や事業の推進に参画することによって支援することを目指している。

著書「問題解決のための『社会技術』」、「社会技術論：問題解決のデザイン」など。

4. 滋賀医科大学× WASEDA-EDGE 医療特化型ビジネスモデル仮説検証プログラム

講座の目的：

薬事法の認可や技術的実現リスクなど一般的な新規事業とは異なるリスクプロファイルを有する医療機器分野の新規事業を効率的に創出するための手法等を、体系的かつ実践的に習得してもらうことで当該分野に挑戦するアントレプレナーを増やし成功確率を高めます。

特色：

- 新規事業創出プロセスのうち、**医療機器のアイデア発想からビジネスモデルの仮説検証までを対象**とします。
- 商品のアイデア発想では医療従事者のニーズを題材とし、デザイン思考等の発想法を活用します。
- 商品を中心としたビジネスモデルの設計と検証時には、ビジネスモデル仮説検証講座を基礎としながら、医療機器特有のリスクを低減させるための実践教育コンテンツを追加します。
- 上のために特に①非臨床試験や臨床試験などの薬事法上の承認プロセスや②技術実現性の検証演習を強化します。

<開催概要>

- 対象：本学 学部生、大学院生
(理系、文系を問いません。起業に関心のある学生ならだれでも参加できます。)
- 定員：20名(予定) (定員超過の場合、受講理由等をもとに選抜します)
- 参加費：無料
- 接続環境：ワークショップでは複数のオンラインツールを同時に利用します。
高速かつ安定した通信環境と接続用のパソコンをご自身でご用意ください。
(デザリングによる接続は非推奨です。)

4. 滋賀医科大学× WASEDA-EDGE

医療特化型ビジネスモデル仮説検証プログラム 開催日程 (予定)

6月中旬より参加申込受付開始予定

日時	主題	内容
第1回 9月5日 (土曜日) 10:00-18:00 9月6日 (日曜日) 9:00-17:00	革新的な医療機器・サービスのアイデアの発案	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン思考の講義・基本ワーク ・医療従事者へのヒアリングによる医療機器等の発案演習
第2回 10月24日 (土) 9:00-13:00	医療機器の事業化に特有の基礎知識の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器の専門家による医療機器に関する基礎知識の講義 ・専門家へのアイデアピッチとフィードバック
第3回 11月21日 (土) 9:00-18:00	ビジネスモデルの構築 (早稲田BCC科目「ビジネスモデル仮説検証」への合流により実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスモデルキャンパスの講義 ・リーンスタートアップの講義 ・ビジネスモデルの初期仮説の構築演習 ・顧客等インタビューの模擬演習
第4回 12月19日 (土) 10:40-18:00	ビジネスモデルの検証結果の発表と相互ディスカッション 総括と振り返り (早稲田BCC科目「ビジネスモデル仮説検証」への合流により実施)	ビジネスモデルの検証結果の発表と相互フィードバック

講師・コーディネータ

● 講師

堤孝志

ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ株式会社 代表取締役



飯野将人

ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ株式会社 代表取締役



● コーディネータ

松浦昌宏

滋賀医科大学 研究戦略推進室 産学連携推進部門 部門長/特任教授



島岡未来子

早稲田大学政治経済学術院 教授

WASEDA-EDGE人材育成プログラム事務局長

